

兵庫県立出石高等学校いじめ防止基本方針

兵庫県立出石高等学校

1 学校の方針

「兵庫が育む ところ豊かで自立したひとづくり ―学び、育て、支えるひょうごの教育―」の基本理念の下、人間尊重を基本として、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」などの調和を図りながら、夢や志を抱き未来を切り開く生徒たちの「生きる力」を育む。

すべての生徒が安心して学校生活を送り、有意義で充実した教育活動に取り組むことができるよう、いじめ防止に向け、日常の指導体制を整備し未然防止や早期発見に取り組むと共に、認知した場合は適切かつ速やかに解決するために「学校いじめ防止基本方針」を定める。

2 基本的考え方

本校は、加藤弘之東京大学初代総理をはじめとする多くの学者や芸術家等を輩出した城下町出石に位置し、創立百有余年にわたる歴史と伝統のうえにさらなる発展を築くため、地域のリーダーの育成をはじめ、一人一人の生徒をその個性に応じて伸ばす教育活動を行っている。しかし、近年の但馬地域の過疎化と少子化の進行、交通アクセスの悪さ等により、定員割れ、学級減となり、規範意識、学力、進路意識が低い多様な生徒が増加している。

学校教育目標の実現のため、地域との結びつきが強い風土を生かし、アンテナショップの運営、地域行事への積極的なボランティア参加等による「ふるさと貢献活動事業」を実施し、積極的な情報発信を行いながら、学校・家庭・地域相互の連携を強化し、生徒の学力向上と進路実現を図ることにより、地域の変化に対応しつつ、生徒・保護者・地域から信頼される学校づくりを推進している。

このようななか、すべての教職員が「いじめは、どの学級にもどの学校にも起こり得る」との認識を持ち、生徒相互が好ましい人間関係を築き、豊かな心を育てる「いじめを生まない土壌づくり」に取り組むために、以下の指導体制を構築し、いじめの防止等を包括的に推進する。学期に1回「いじめに関するアンケート」を実施し、そのアンケート結果を参考に面談し、個々の生徒にきめ細かく対応する体制や早期発見・早期対応に向けた取り組みを行う。

別紙1 いじめに関するアンケート

3 いじめの防止等の指導体制、組織対応等

(1) 日常の指導体制

いじめの防止等に関する措置を実効的に行うため、管理職を含む複数の教職員、心理等に関する専門的な知識を有するその他の関係者により構成される日常の教育相談体制、生徒指導体制など校内組織及び連携する関係機関を別に定める。

別紙2 校内指導体制及び関係機関

また、いじめは教職員や大人が気づきにくいところで行われ、潜在化しやすいことを認識し、教職員が生徒の小さな変化を敏感に察知し、いじめを見逃さず、早期発見のためのチェックリストを別に定める。

別紙3 チェックリスト

(2) 未然防止及び早期発見のための指導計画

いじめ防止の観点から、学校教育活動全体を通じて、いじめ防止に資する多様な取組を体系的・計画的に行うため、包括的な取り組みの方針、いじめ防止のための取組、早期発見の在り方、いじめへの対応に係わる教職員の資質能力向上を図る校内研修など、年間の指導計画を別に定める。

別紙4 年間指導計画

(3) いじめを認知した際の組織的対応

いじめの疑いに関する情報を把握した場合やいじめを認知した場合は、情報の収集と記録、情報の共有、いじめの事実確認を行い、迅速にいじめの解決に向けた組織的対応を別に定める。

別紙5 組織的対応

4 重大事態への対応

(1) 重大事態とは

重大事態とは「いじめにより生徒の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき」で、いじめを受ける生徒の状況で判断する。本校の場合、例えば、心身に重大な障害を負った場合、金品等に重大な被害を被った場合等のケースが想定される。また、「いじめにより生徒が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがある場合と認めるとき」であるが、「相当の期間」については、不登校の定義を踏まえ、年間30日を目安とする。ただし、生徒が一定期間、連続して欠席しているような場合には、適切に調査し、校長が判断する。また、生徒や保護者からいじめられて重大事態に至ったという申し立てがあったときは、校長が判断し、適切に対応する。

(2) 重大事態への対応

校長が重大事態と判断した場合、直ちに県教育委員会に報告すると共に、校長がリーダーシップを発揮し、学校が主体となって、いじめ対策委員会に専門的知識及び経験を有する外部の専門家である保護司、及び人権擁護委員等を加えた組織で調査し、事態の解決にあたる。なお、事案によっては、県教育委員会が設置する重大事態調査のための組織に協力し、事態の解決に向けて対応する。

5 その他の事項

信頼される学校づくりを推進する本校は、これまでも情報発信に努めてきたが、いじめ防止等についても、地域と共に取組む。策定した学校の基本方針については、学校のホームページで公開するとともに、学校評議員会やPTA総会をはじめ、学年懇談会、三者懇談会、家庭訪問などあらゆる機会を利用して保護者や地域に情報発信に努める。

また、いじめ防止等に実効性の高い取り組みを実施するため、学校の基本方針が、実情に即して効果的に機能しているかについて、「いじめ対策委員会」を中心に点検し、必要に応じて見直す。学校の基本方針の見直しに際しては、学校全体でいじめの防止等に取り組む観点から生徒の意見を取り入れるなど、生徒の主体的かつ積極的な参加が確保できるよう留意する。また、保護者、地域住民等からの意見を積極的に聴取するよう留意する。

いじめに関するアンケート

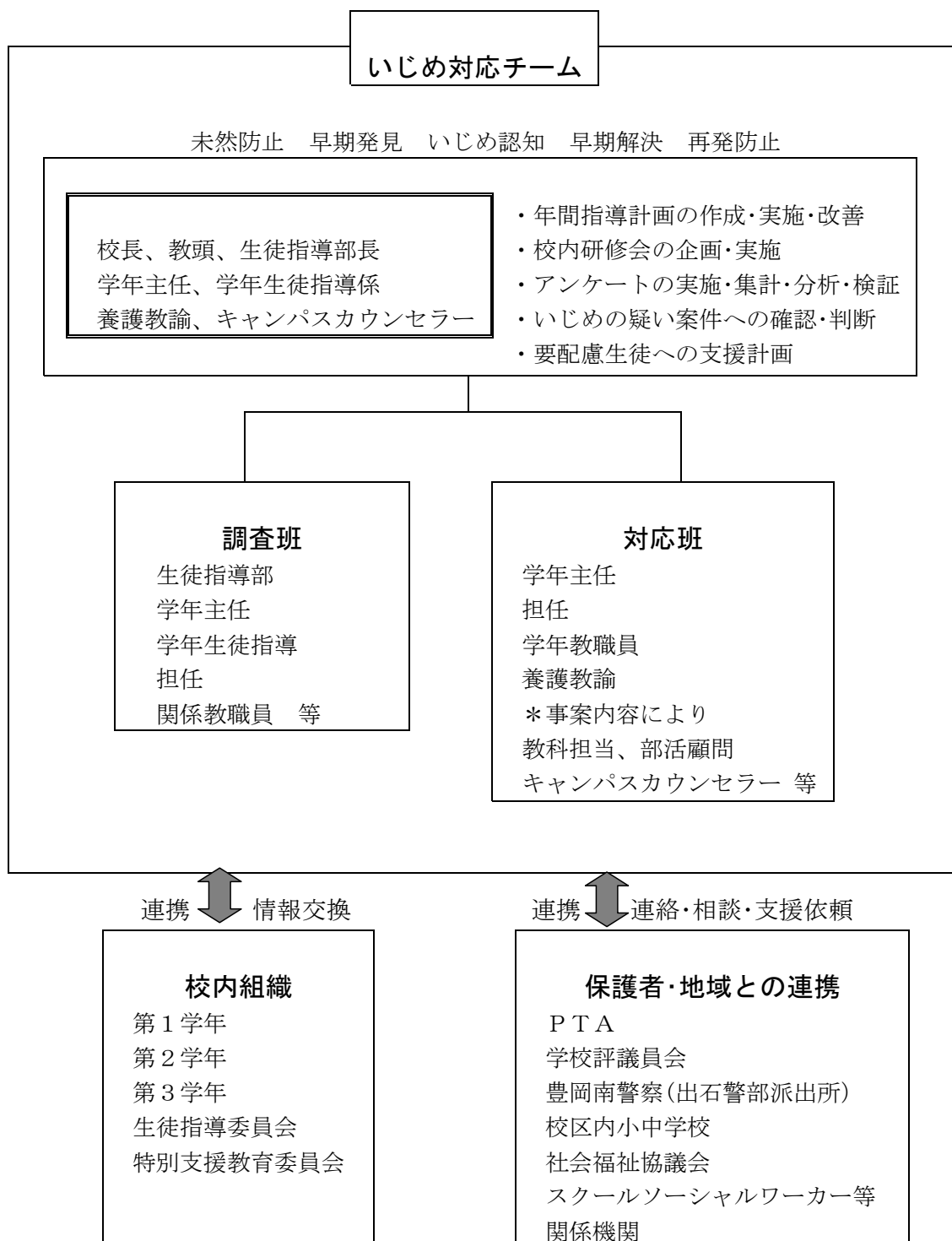
別紙 1

年 組 番 (男 女)

1～8について、該当する項目について○をつけ、9については具体的に書いてください。

- 1 学校に来ることは楽しいですか。
①楽しい ②まあまあ楽しい ③あまり楽しくない
- 2 今の学年になっていじめられたことがありますか。(4月以降)
①ある → 3へ ②ない → 9へ ③見たことがある
それはどんな場面ですか。()
- 3 2で①および③と答えた人で、そのいじめは今も続いていますか。
①続いている ②続いていない
- 4 2で①および③と答えた人で、誰からいじめられましたか。(複数回答可)
①同級生 ②上級生 ③下級生 ④部活動が同じ人
⑤他校の生徒 ⑥地域の人(青年等) ⑦その他()
- 5 どのようないじめを受けましたか。(複数回答可)
①いいがかりやおどしを受けた ②からかいや冷やかしを受けた
③物を隠されたり汚されたりした ④仲間はずれにされた
⑤無視された ⑥殴られたりけられたりした
⑦お金や物を取られた ⑧用事を言いつけられた
⑨ネット掲示板等へ書き込まれた ⑩その他()
- 6 いじめを受けた人は、誰かに相談しましたか。
①相談した → 7へ ②相談していない → 8へ
- 7 6で①相談した人は、誰に相談しましたか。(複数回答可)
①担任の先生 ②養護教諭(保健室)の先生 ③部活動の顧問の先生
④校長先生や教頭先生 ⑤1～4以外の先生 ⑥キャンパスカウンセラー
⑦友だち ⑧先輩 ⑨家族(親)
⑩家族(兄弟姉妹) ⑪その他()
- 8 6で②相談しなかった人は、相談しない理由は何ですか。(複数回答可)
①先生に相談したらいじめが悪化するから
②先生に相談しても気持ちをわかってもらえないから
③親に相談すると心配をかけるから
④相談する相手に弱みを見せたくないから
⑤相談したら、仕返しがこわいから
⑥解決方法がうまく見つからないから
⑦現状でがまんできるから
⑧その他()
- 9 いじめについて、何か思うことがあれば書いてください

- 1 「いじめは絶対に許さない」「いじめを根絶する」という強い意志のもとで、学校全体で組織的な取り組みを行う。（人権教育・道徳教育・体験教育・特別活動等）
- 2 いじめ問題への組織的な取り組みを推進していくため、いじめ問題への対応に特化した機動的な「いじめ対応チーム」を設置する。
- 3 「いじめ対応チーム」を中心として、特定の教員がいじめ問題を抱え込むことのないように、教職員全体で共通理解を図り、報告・連絡・相談を確実にし、学校全体で総合的ないじめ対策を行う。
- 4 生徒の状況や地域の実態に応じた取り組みを展開するために、アンケート等を活用した検証・評価を定期的に行う。（ネットを利用したいじめにも対応する）

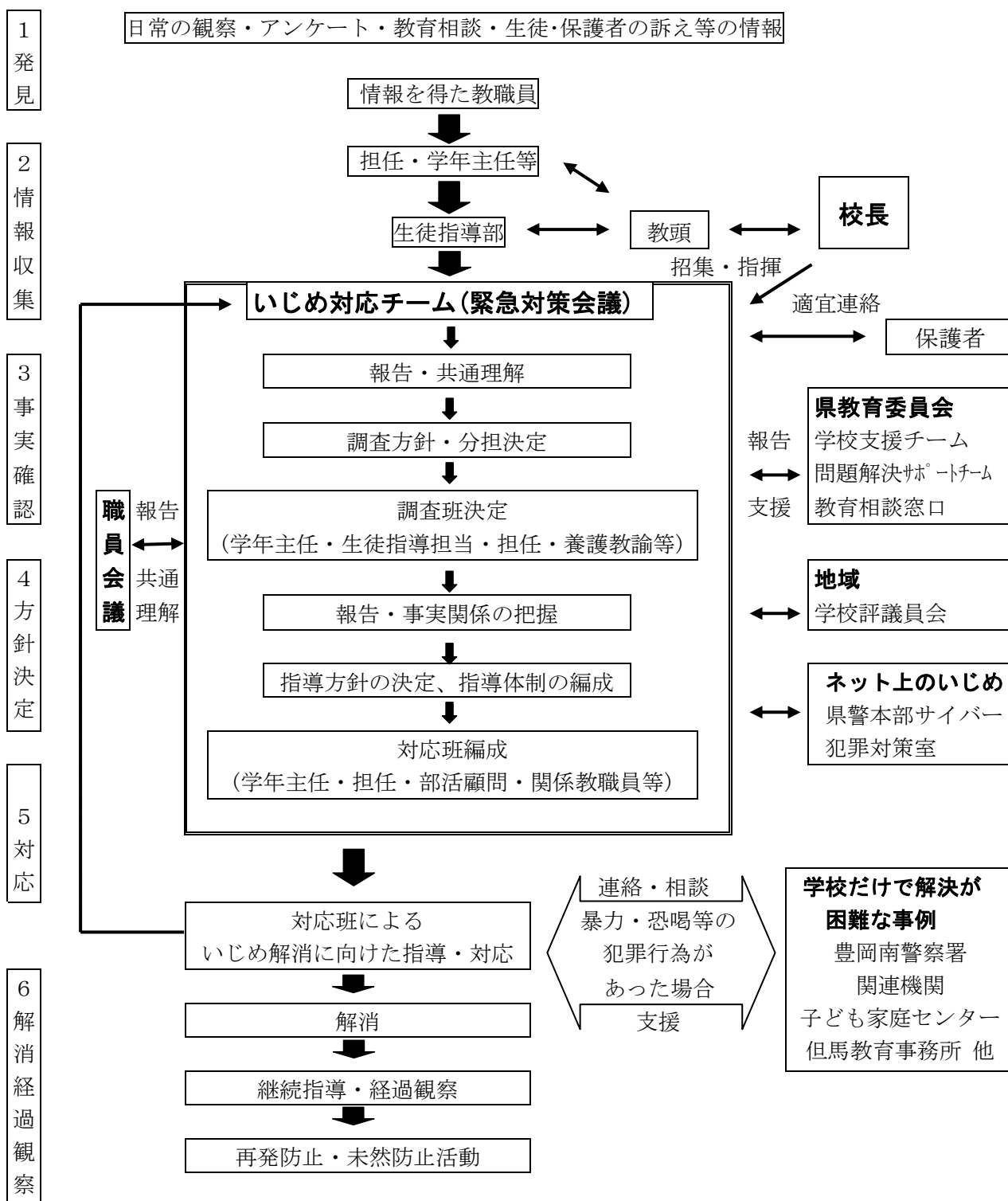


いじめが起こりやすい・起こっている集団	
<input type="checkbox"/> 朝いつも誰かの机が曲がっている	<input type="checkbox"/> 掲示物が破れていたり落書きがあつたりする
<input type="checkbox"/> 班にすると机と机の間に隙間がある	<input type="checkbox"/> 教職員がいないと清掃がきちんとできない
<input type="checkbox"/> グループ分けをすると特定の生徒が残る	<input type="checkbox"/> 特定の生徒に気を遣っている雰囲気がある
<input type="checkbox"/> 些細なことで冷やかしたりするグループがある	
<input type="checkbox"/> 学級やグループの中で絶えず周りの顔をうかがう生徒がいる	
<input type="checkbox"/> 自分たちのグループだけでまとまり、他を寄せつけない雰囲気がある	
<input type="checkbox"/> 授業中、教職員に見えないように消しゴム投げをしている	

いじめられている子	
○日常の行動・表情の様子	
<input type="checkbox"/> わざとらしくはしゃいでいる	<input type="checkbox"/> 常に周囲の行動を気にし、目立たないようにする
<input type="checkbox"/> 顔色が悪く、元気がなく暗い表情になる	<input type="checkbox"/> 下を向いて視線を合わせようとしない
<input type="checkbox"/> 腹痛など体調不良を訴えて保健室へ行きたがる	
<input type="checkbox"/> 悪口を言われても言い返さず、愛想笑いをする	
<input type="checkbox"/> 遅刻・欠席・早退や一人で下校することが増える	
○授業中・休み時間	
<input type="checkbox"/> 発言すると冷やかされたり、周囲がざわつく	<input type="checkbox"/> 一人でいることが多い
<input type="checkbox"/> 班編成の時に孤立しがちである	<input type="checkbox"/> 学習意欲が減退し、忘れ物が増える
<input type="checkbox"/> 教職員の近くにいたがる	<input type="checkbox"/> 不まじめな態度、ふざけた質問をする
<input type="checkbox"/> 遊びだと友人とふざけているが、表情がさえない	<input type="checkbox"/> ひどいアダ名で呼ばれる
<input type="checkbox"/> 教職員がほめると冷やかされたり、陰口を言われたりする	
○昼食時	
<input type="checkbox"/> 他の生徒の机から机を少し離している	<input type="checkbox"/> 食事の量が減ったり、食べなかったりする
<input type="checkbox"/> 食べ物にいたずらされる	<input type="checkbox"/> 弁当を一人で食べることが多い
<input type="checkbox"/> 笑顔がなく、黙って食べている	
○清掃時	
<input type="checkbox"/> いつも雑巾がけやごみ捨ての当番になっている	
<input type="checkbox"/> 机やロッカーにゴミを捨てられる	<input type="checkbox"/> 一人で離れて掃除をしている
○その他	
<input type="checkbox"/> トイレなどに個人を中傷する落書きが書かれる	<input type="checkbox"/> 持ち物や机、ロッカーに落書きをされる
<input type="checkbox"/> 持ち物が壊されたり、隠されたりする	<input type="checkbox"/> 理由もなく成績が突然下がる
<input type="checkbox"/> 部活動を休むことが多くなり、やめると言い出す	<input type="checkbox"/> 衣服が汚れたり破れたりしている
<input type="checkbox"/> けがの状況と本人が言う理由が一致しない	<input type="checkbox"/> 必要以上のお金を持ち、友だちにおごる

いじめている子	
<input type="checkbox"/> あからさまに、教職員の機嫌をとる	<input type="checkbox"/> 教職員によって態度を変える
<input type="checkbox"/> グループで行動し、他の生徒に指示を出す	<input type="checkbox"/> 特定の生徒にのみ強い仲間意識をもつ
<input type="checkbox"/> 金品や物の貸し借りを頻繁に行っている	<input type="checkbox"/> 教師が近づくと、不自然な行動を取る
<input type="checkbox"/> 教職員の指導を素直に受け取れない	<input type="checkbox"/> 他の生徒に対して威嚇する表情をする
<input type="checkbox"/> 友だちとの会話の中に差別意識が見られる	<input type="checkbox"/> 仲間同士集まり、ひそひそ話をしている

	職員会議・研修等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組
4月	年間指導計画立案 職員会議 (方針説明・共通理解)	生徒指導部長講話 学年集会主任講話 刈エンテーション合宿(1年生) 生徒総会(生徒会より啓発)	中学訪問結果共通認識 個別面談
5月	PTA評議委員会・総会にて 啓発	通学指導(PTA・教職員)	個別面談
6月	PTA評議委員会にて啓発 中高連絡会	学年集会主任講話 命の講演会	生活実態調査
7月	PTA評議委員会 学校評議員会 地区別懇談会	生徒指導部長講話 (情報モラル指導含む) 学年集会主任講話	いじめアンケート① 個別面談 PTAと生徒会の話し合い
8月	カウンセリングマインド研修会 (外部講師・キャンパスクンセラー)		いじめアンケート結果報告①
9月		生徒指導部長講話	
10月	PTA評議委員会 職員研修会	学年集会主任講話 (2年修学旅行)	個別面談
11月		マナーアップHRにて啓発	
12月		生徒指導部長講話 (情報モラル指導含む) 学年集会主任講話	いじめアンケート② 個別面談
1月		薬物乱用講習会	いじめアンケート結果報告② PTAと生徒会の話し合い
2月			いじめアンケート③
3月	学校保健委員会 今年度の総括、来年度の課題	生徒指導部長講話 学年集会主任講話 新入生とその保護者への講話	いじめアンケート結果報告③ 個別面談 中学校訪問(情報収集)
定期実施	いじめ対応チーム会議 (毎月、事故発生時)	指導委員会(毎週)・学年会 (毎週)による情報交換・収集 学校評議員会 学校関係者評価委員会	教育相談(毎月) あいさつ立番(教職員・毎日) 教職員校内巡回(毎日)



* 1 発見 2 情報収集 3 事実確認 4 方針決定 は迅速に行う。即日対応が望ましい。

生命又は身体の安全がおびやかされるような重大事態が発生した場合

- 速やかに教育委員会や警察等の関係機関に報告する。
- 教育委員会の支援のもと管理職が中心となり、学校全体で組織的に対応し、迅速に事案解決にあたる
- 事案によっては、当事者の同意を得た後、説明文書の配布や緊急保護者会を実施する。
- マスコミ対応は情報の窓口を一本化する。